

令和3年度以降に 市立中学校で使用する 教科書を採択しました!

市教育委員会は、8月27日(木)に開催した教育委員会定例会において、令和3年度から令和6年度まで市立中学校で使用する教科書を下表のとおり採択しました。

採択に当たっては、学校長および副校長、保護者、市民を委員とする選定検討委員会や教員を部会員とする調査研究部会を設置し、公平・公正な採択に努めました。

市立中学校教科書 採択発行者一覧	
種目	発行者
国語	光村図書出版株式会社
書写	光村図書出版株式会社
社会(地理的分野)	株式会社帝国書院
社会(歴史的分野)	東京書籍株式会社
社会(公民的分野)	東京書籍株式会社
地図	株式会社帝国書院
数学	東京書籍株式会社
理科	東京書籍株式会社
音楽(一般)	株式会社教育芸術社
音楽(器楽合奏)	株式会社教育芸術社
美術	光村図書出版株式会社
保健体育	株式会社大修館書店
技術・家庭(技術分野)	開隆堂出版株式会社
技術・家庭(家庭分野)	開隆堂出版株式会社
英語	東京書籍株式会社
道徳	東京書籍株式会社

※書写、第2学年の社会(地理的分野)、社会(歴史的分野)、地図、第3学年の音楽(一般)、音楽(器楽合奏)、第3学年の美術、保健体育、技術・家庭の教科書については、令和2年度以前に給与済みの「採択変更前の発行者の旧版教科書」を令和3年度も引き続き使用します。

☎指導課指導係・内線2488

令和3年 4月 第二小学校に市立小学校で初めての 自閉症・情緒障害特別支援学級 **さくら学級** を開設します

令和3年4月に市立小学校で初めての自閉症・情緒障害特別支援学級を開設します。新しい学級の名前は「さくら学級」。二小の児童の皆さんがすてきな名前を付けてくれました。

発達障害等のお子さんを対象とした学級です

この学級は、発達障害等の特性により通常の学級での活動に参加することが難しい、知的障害のない児童が対象です。

学級では、児童それぞれに作成した個別指導計画に基づき、児童の学習する力や集団に適應する力を伸ばすための個に応じた指導を行うとともに通常の学級との交流及び共同学習を行っています。



学級名を決めている児童会の子どもたち

開設準備を進めています

学級の開設に向けて、教室の工事を行うほか、備品や教材の購入を進めていきます。教室の環境がおおむね整う令和3年2月～3月には、入級を予定している児童と第二小学校の児童を対象に、教室見学を行う予定です。

市では今後も一人ひとりのニーズに合わせ、子どもたちの持っている力を伸ばすための教育を進めていきます。

新年度、さくらの時期に誕生する「さくら学級」をよろしくお祈りします。



さくら学級と一緒に 新たな伝統を

第二小学校
校長 吉岡正司

令和3年4月、友達との関わり方に苦手さを感じたり、本人の特性から通常の学級での活動に難しさを感じていたりする子どもたちが通う、「自閉症・情緒障害特別支援学級」が開設します。

さて新しい学級はどんな名前にしようか?本校の子どもたちに考えてもらうことにしました。子どもたちはまだ見ぬ新しい友達に想いをはせ、

支援学級の子どもたちが気持ちよく通えるようにとさまざまなアイデアを出してくれます。一人ひとりの個性が集まってすてきな学級になるようにと「にじいろ学級」。“困難に打ち勝つ”という花言葉をもつ「さざんか学級」。最後は児童会が中心となって「さくら学級」に決定しました。「さくら」のもつやさしいイメージや「や⑤しく・たのし⑤・自分⑤しく」からの1文字ずつというのがその決定の理由です(頭文字で統一されていないところが子どもらしくて、とてもいいな～と感じています)。

昨年度、開校90周年を迎えた本校。来年度から、さくら学級の子どもたちも一緒になって、新たな伝統を築いていきます。

☎教育支援課・内線4030

教育委員の活動を紹介します

教育委員の令和2年5月から9月までの活動は下表の通りです。

活動実績(令和2年5月～9月)

5月8日(金)	第9回教育委員会定例会
5月21日(木)	第3回教育委員会臨時会
5月29日(金)	第10回教育委員会定例会
	第1回総合教育会議
6月11日(木)	第11回教育委員会定例会
6月26日(金)	第12回教育委員会定例会
7月9日(木)	第13回教育委員会定例会
7月13日(月)	第4回教育委員会臨時会
7月20日(月)	第14回教育委員会定例会
8月6日(木)	第15回教育委員会定例会
8月27日(木)	第16回教育委員会定例会
9月3日(木)	第17回教育委員会定例会
9月24日(木)	第18回教育委員会定例会
	学校訪問視察(第七小学校)

☎教育総務課・内線2465

第七小学校大規模改修 校舎等をリニューアルしました

第七小学校の校舎等の大規模改修工事が令和2年7月に完了し、子どもたちは2学期からきれいになった校舎等で学校生活を送っています。

大規模改修工事は、老朽化が進んだ校舎等の長寿命化を図るためのものです。主な改修箇所は、外壁、建具、内装、トイレです。また、エレベーターや多目的トイレを設置しバリアフリー化を図りました。

普通教室や特別教室等は、天井や内装を改修したほか、LED照明を新設しました。既存床は研磨や塗装をするなどしてきれいにしました。

なお、一部の床スラブ(鉄筋コンクリートの床材)が校舎建設時の設計図書に記載された厚さに対して不足していたため、補強工事を行いました。

☎教育総務課・内線2474



改修した普通教室



新設した多目的トイレ